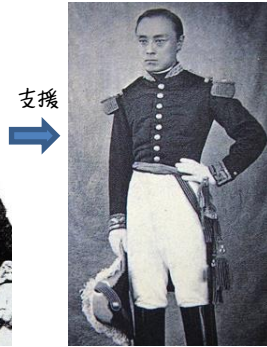


将軍後見職 (将軍の代理人)の徳川慶喜、幕府独裁復活を目指す。

- 第一次征長で長州を降伏させた
- フランス公使 ロッシュ の肩入れて西洋化
- 自信回復、参勤交代復活 を命令



フランス公使
ロッシュ



フランス 式の
軍服を着る慶喜

1865.10 条約勅許 (兵庫は不許可)

ハリスと大老井伊直弼が勅許なしで調印した日米修好通商条約など安政の五か国条約は、勅許がない状態でした。しかも兵庫は開港延期のままでした。業を煮やした英・仏・蘭・米船が大坂湾にきて条約勅許と兵庫開港を求めました

- 慶喜、「条約は天皇の意志を踏みにじるものだ」という幕府批判を勅許で封じ込めた。
- 自信回復した慶喜、さらに幕府独裁を目指す。

1866.1 薩長同盟

世論「幕府は物価高騰で苦しむ民衆に何かしているのか」
世論「徳川慶喜は妙な自信で、幕府独裁に固執している」
世論「こういう幕府はオールジャパンの障害物になった」
西郷隆盛「薩摩だけではムリだ、例え嫌いでも長州とは組まなければ慶喜の独裁を止められない」

長州… 蛤御門の変で西郷に多くの仲間を殺されていて、憎んでいます。

薩摩 西郷隆盛、長州 木戸孝允
仲介 坂本龍馬 「木戸さんは薩摩が先に言ってくれたら同盟すると言っています！」

薩摩、長州が欲しい最新式銃を薩摩名義で購入

長州、薩摩が欲しい兵糧米を薩摩に大量供給
薩摩は火山灰が多くて米があまりとれない。サツマイモを多く食べていて、薩摩藩士のあだ名は「イモ」イモだと戦場の兵糧には、ならないです。

1866.5 改税約書

①列国が大坂湾に侵入して兵庫開港要求
→兵庫開港再延期と引き換えに輸入関税率

20%→ 5% に大幅引き下げ

②税のかけ方を従価税から従量税に変えた

あ 従量税は物価上昇の影響を受けないのでイギリス有利
い 貿易が日本の輸入超過になってしまった！
う イギリス製の安価な製品流入を関税で防ぐことができなくなり、日本の産業に大打撃！
え でも孝明天皇は兵庫開港を再延期でき満足、この交渉をまとめた徳川慶喜に大きな信頼を寄せるように。

1866 孝明天皇、慶喜に長州征伐を勅許

1866.6 第2次長州征伐

- 将軍徳川家茂、大坂城に出陣。

「和宮さんや、大坂に行ってきます。途中で和宮さんの実家の京都に寄るから、西陣や友禅染を選んで買って江戸に送りますね。楽しみにしてください。」

- 戦力で勝るはずの幕府軍、連戦連敗。

陸 長州に天才軍師^{あらわ}現る(大村益次郎)

海 高杉晋作 の奮戦

1866.10 将軍家茂、急死

家茂の亡骸が江戸の和宮のもとに着いた後、京都から和宮宛てに荷物が届きました。

うつせみの 唐織衣 (からおりごろも) 何にせむ
あやも錦 (にしき) も 君がいてこそ 和宮

将軍家茂の死を理由に征長軍、撤兵。

1866.10 15代将軍徳川慶喜就任。

孝明天皇が慶喜就任を強く支持。

1866.12 孝明天皇、急死

→15歳の 明治天皇 即位

薩長約書で懲罰持ち越し。

1866.1	<u>薩長同盟</u>	薩長
1866.5	<u>改税約書</u>	約書で
1866.6	<u>第2次長伐</u>	懲罰
1866.10	<u>将軍家茂急死</u>	持ち越し
1866.12	<u>孝明天皇急死</u>	

088 幕末維新 1865 年、1866 年編